

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年4月1日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

4月2日 チカホで 一日宣伝・署名行動します。

生活保護・年金引き下げ、消費税・医療費値上げやめて、社会保障の拡充を

安倍政権は、8月から生活保護基準の引き下げ、10月分から年金や児童扶養手当などの引き下げ、来年4月から、70歳から74歳の医療費を2倍にし、消費税も8%に値上げしようとしています。その上、社会保障制度改革推進法に基づいて、国民会議や自公民3党で、医療、介護、年金、子育て、生活保護などの改悪案を検討し、法案提出の準備をしています。

これらの改悪は、国民全体の生活に影響し、地域経済も冷え込ませる内容です。しかし、こうした改悪の動きは、まだ、知られていません。改悪ではなく、拡充させる国民世論を広げましょう



とき:4月2日(火) 10時から18時 ところ:チカホ・北大通広場(東)「ピッセの真下」
パネルや相談コーナーも用意します。お昼と夕方には、生バンドなど演奏も予定しています。

年金引き下げを中止しろ！

余市町・美唄市議会で意見書採択

「70～74歳の医療費窓口負担増の中止求める意見書」も採択

年金者組合などが、道内の地方議会へ、今年10月(12月支給)から年金を段階的に2.5%の引き下げを中止する意見書を採択するように働きかけをしています。3月議会で、余市町議会と美唄市議会で意見書が採択されています。

余市町では、法改悪に反対する意見書を採択していました(公明や民主党会派は反対)。一方、美唄市では、法改悪反対の意見書は否決されましたが、否決理由が「意にそわない」の一言だったため、陳述の際に「理由を明確にするよう」に求めました。会派回りもしたそうです。全会一致で採択されたそうです。年金や生活保護の引き下げは、高齢者の多い自治体にとっては地域経済にも大きな影響があります。引き下げは年金だけではなく、ひとり親家庭の「児童扶養手当」や、障害のある子どもを育てる「特別児童扶養手当」など、8種類の福祉的手当が3年かけて1.7%減額されます。年金引き下げを中止させましょう。

また、両議会では、「70～74歳の医療費窓口負担増の中止を求める意見書」も全会一致で採択されています。

年金2.5%削減中止を求める要望意見書
国は、昨年、2.5%年金削減法を含む、国民生活に直結する重要法案を成立させました。
その中でもとりわけ年金2.5%削減の実施は、深刻な不況と生活苦の中にある高齢者の生活を圧迫し、悲惨な結果を招くことが危惧されます。
年金は自治体の高齢住民に直接付される収入で、特に大都市部を離れた地域では、その削減は地域経済に大きな影響を及ぼすとともに、消費を冷え込ませ、不況を一層深刻にし、国の経済にも負の影響を与えることが懸念されます。
よって、国においては、公的年金の2.5%削減は行わないよう強く要望いたします。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成25年3月22日
北海道余市郡余市町議会議長 中井寿夫

「困っています」 若者から高齢者まで、道内各地から35件の相談 低年金、低賃金・失業、生活保護指導の強化、解雇など



3月26日(火)、10時～17時、雇用・くらし・SOSネットワーク北海道が、「なんでも電話相談」を行いました。札幌市をはじめ、釧路市、旭川市、小樽市、帯広市など各地から、30人(27～75歳)から35件(生活21、法律4、労働6、医療4)の電話がありました。当日は新聞やテレビでも報道されました。
生活相談では、69歳女性から「94歳の母名義の家で一人暮らし。本州で暮らす母の年金から月5万円の仕送りを受けていたが、母の認知症が進み、特養入所のため仕送り停止になる」、63歳女性から「夫は大工だがほとんど仕事がない。二人で国民年金8万円では生活できない」、障害3級の36歳女性から「派遣会社で配置転換を言われ自分で断り、失業、生活困難」など、相談が多数ありました。生活保護利用者からも相談が多く、60歳男性から「ケースワーカーから、『求職活動を活発にしないと指導書をだす』と言われてたがどうしたらいいか」、30代の方から「就労指導とともに、ボランティア活動への参加強要も。自分はうつ、病気のため左手で物が持てない」、高齢の女性から「障害1級の75歳の夫とアパート暮らし、浴槽が高くて入浴させていない。公住も申し込んでいるが当たらない。ケースワーカーから転居を進められているが『費用は自分持ち』と言われてる」などの相談も。労働相談では、解雇後の賃金未払いなどの相談もありました。

SOSネットでは、新たにフリーダイヤルを設置し引き続き電話相談もする予定です。

『なんでも電話相談』